

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010102010600		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	放課後児童保育事業	予算事業名	放課後児童保育事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		子育てと仕事両立できるよう支援する		担当課長	西角 隆行	担当者名	山本 晃嗣
取組み事項		多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		放課後児童保育学級施設整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者					
	誰(何)を対象として	保護者の就労等により日中保育できない小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後家庭において両親又はこれに代わる者の保育に欠ける児童の健全育成を図る					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後児童保育事業を実施し、家庭において保育に欠ける児童を、放課後から保護者が帰宅する時間帯の午後6時まで、一人につき月額6千円の保育料で、学校開設日及び長期休業期間中(日・祝・盆・年末年始を除く)、預かる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	受け入れ学級	学級	6	6	6	6	
	受け入れ児童数	人数	154	162	185	210	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.568	0.460	81	0.492	107	0.493	100	
	臨時職員	6.280	12.548	200	13.688	109	13.688	100	
支出内訳	人件費	20,013,026	34,414,253	172	38,506,470	112	41,230,168	107	
	事業費	1,415,727	1,511,937	107	4,077,922	270	4,027,000	99	
	合計	21,428,753	35,926,190	168	42,584,392	119	45,257,168	106	
財源内訳	国庫支出金			-	4,066,000	-	2,810,000	69	
	県支出金	4,037,000	6,362,000	158	3,745,000	59	2,810,000	75	
	市債			-		-		-	
	その他	8,784,000	10,140,000	115	11,772,000	116	12,060,000	102	
	一般財源	8,607,753	19,424,190	226	23,001,392	118	27,577,168	120	
合計	21,428,753	35,926,190	168	42,584,392	119	45,257,168	106		

※ 事業の進捗状況

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	備考
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入級希望児童数							
指標説明(式)		希望児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	155	180	116.1	210	116.7	210	100.0	
	実績	154	162	105.2	185	114.2			
指標名2		入級児童数							
指標説明(式)		受け入れ児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	155	180	116.1	210	116.7	210	100.0	
	実績	154	162	105.2	185	114.2			

【効率性】

指標名1		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷受け入れ児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40970	206905	505.0	217428	105.1	215510	99.1	
	実績	139148	221766	159.4	230185	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	保護者の就労等により日中保育ができない児童に対して、居場所づくりは必要である	5
	市民ニーズ	経済情勢の低迷や核家族化に伴い、必要性は増大している	
有効性	成果目標(改善)達成度	開設基準をみたしている学校に対して児童保育学級が開設できた	5
	市民サービス	保護者の就労支援や保育に欠ける児童に対して有効である	
効率性	コストの節減	近隣市町との比較において、適正である	4
	手段の最適性	指導員及び指導補助員の適切な配置による運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導員及び指導補助員の確保



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童数による指導員、指導補助員の適切な配置

配点	32.5
総合評価	30.5

(2) 29年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	入所定員のあり方について検討する
見直し事項	双葉小学校(くすの木学級)の学童保育室の整備を行う
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 拡大